

CALLERLAB

PLUS DEFINITIONS



プラス 動作の定義

Revised December 22, 2014

2014年12月22日改訂



一般社団法人 日本スクエアダンス協会

注：このプラス動作の定義における改定内容をここに記す。次のように変更が行われている。

変更日	変更事項
2002年 8月 7日	FAN THE TOP (ファン ザ トップ)を追加。メインストリームプログラムから削除。 EIGHT CHAIN THRU (エイト チェイン スルー)を追加。メインストリームプログラムから削除。 SPIN CHAIN THRU (スピン チェイン スルー)を追加。メインストリームプログラムから削除。
2003年 3月18日	地域的なスタイリングの違いを序文に追加。
2003年 9月 1日	EIGHT CHAIN THRU (エイト チェイン スルー)を削除。
2004年 4月 5日	iページにおける“地域的な違い”についての“8”を“6”に変更。
2004年10月22日	ACEY DEUCEY (エイシー デューシー)、COORDINATE (コウオーディネイト)、PEEL OFF (ピール オフ)の定義を変更。
2004年12月 1日	“前書”の形式を再変更。
2004年12月15日	定義形式をいくつか変更。
2006年 9月21日	SPIN CHAIN THRU (スピン チェイン スルー)を削除。
2006年10月 2日	3/4 TAG THE LINE (スリー クォーター タッグ ザ ライン)のタイミングを5に変更。
2007年 8月31日	ALL EIGHT SPIN THE TOP (オール エイト スピン ザ トップ)の定義を修正。
2010年11月30日	LINEAR CYCLE (リニア サイクル)のタイミングを8-10に変更。
2010年12月 8日	COORDINATE (コウオーディネイト)の定義を変更。
2010年12月29日	1ページのプラス動作(PLUS MOVEMENTS)をプラスプログラムの定義(PLUS PROGRAM DEFINITIONS)に変更。
2011年 9月26日	ACEY DEUCEY (エイシー デューシー)の定義形式と誤植の修正。 目次の更新。
2012年 1月 9日	Ocean Wave Rule (オーシャンウェイブの規則)に閉じ括弧を追加。
2014年12月22日	SPIN CHAIN & EXCHANGE THE GEARS (スピン チェイン アンド エクスチェインジ ザ ギアーズ) の定義変更。

© 著作権 1997, 2001-2014CALLERLAB、スクエアダンスコーラー国際協会。再印刷、再発行、使用料の発生しない写物製作はこの文章表示を条件にこれを許可する。使用料の発生しないインターネットでの刊行はこの文章表示を条件にこれを許可する。使用料の発生しない一部または全ての引用はこの文章表示を条件にこれを許可する。いかなる写物製作または刊行においても本書内の資料は変更されまた改訂されてはならない。

プラス動作の定義

目次

前書.....	i
ACEY DEUCEY (エイシー デューシー)	1
ALL 8 SPIN THE TOP (オール エイト スピン ザ トップ)	1
(ANYTHING) & ROLL ((何かの動作) アンド ロール).....	1
(ANYTHING) & SPREAD ((何かの動作) アンド スプレッド)	2
CHASE RIGHT (チェイス ライト).....	2
COORDINATE(コウオーディネイト).....	3
CROSSFIRE (クロスファイア)	3
CUT THE DIAMOND(カット ザ ダイヤモンド).....	3
DIAMOND CIRCULATE (ダイヤモンド サーキュレイト)	3
DIXIE GRAND (ディキシー グランド)	4
EXPLODE AND (Anything) (エキスペロウド アンド (何かの動作))	4
EXPLODE THE WAVE (エキスペロウド ザ ウエイブ)	4
EXTEND (エクステンド)	5
FAN THE TOP (ファン ザ トップ)	5
FLIP THE DIAMOND(フリップ ザ ダイヤモンド).....	5
FOLLOW YOUR NEIGHBOR (フォロー ユア ネイバー)	6
GRAND SWING THRU(グランド スイング スルー).....	6
LINEAR CYCLE (リニア サイクル)	6
LOAD THE BOAT(ロード ザ ボート)	7
PEEL OFF(ピール オフ)	7
PEEL THE TOP(ピール ザ トップ)	8
PING PONG CIRCULATE (ピンポン サーキュレイト)	8
RELAY THE DEUCEY (リレイ ザ デューシー)	9
SINGLE CIRCLE TO A WAVE (シングル サークル トゥ ア ウエイブ)	9
SPIN CHAIN & EXCHANGE THE GEARS(スピン チェイン アンド エクスチェインジ ザ ギアーズ) ..	9
SPIN CHAIN THE GEARS(スピン チェイン ザ ギアーズ)	10
TEACUP CHAIN...ティーカップ チェイン)	10
3/4 TAG THE LINE (スリー クォーター タッグ ザ ライン)	12
TRACK II(トラック トゥー).....	12
TRADE THE WAVE(トレード ザ ウエイブ).....	12

プラスプログラム動作の定義

前書

目的 プラスプログラムにおいて使われる言葉や動作を明白に、簡便にまた単純に説明するのが本プラスプログラムの定義の目的である。

1. 動作を始める隊形
動作を始める隊形は定義される動作のそれぞれに記されている。この隊形はそれぞれの定義が公認された時に、最も一般的に使われていた動作を始める隊形であるが、必ずしも唯一の可能な動作を始める隊形であるということではなく、スクエアダンス活動の本質を弾力的に鑑みて判断すべきである。
2. 向かい合っているダンサー 向かい合っているダンサーは、特に明記されていない場合、男性と女性のような組み合わせでもよい。
3. カプル
カプルは、特に明記されていない場合、男性と女性のような組み合わせでもよい。
4. 通り過ぎる時の規則
ダンサー二人が互いに歩を進めてぶつかりそうなときは、常に右肩で通り過ぎ、動作を続ける。
5. 同一位置の規則
ダンサー二人が互いに歩を進めて同じ位置に留まる必要があるときは、常に右手を取ってミニウェイブとなり、同じ位置を共有する。
6. 向かい合っているカプルの規則 ある動作によっては、オーシャンウェイブから行われる動作に多いが、向かい合っているカプルからでも同じように行うことができる(例えば、ALL 8 SPIN THE TOP (オールエイト スピン ザ トップ)、GRAND SWING THRU (グランド スイング スルー)、RELAY THE DEUCEY (リレイ ザ デューシー)、SPIN CHAIN THE GEARS (スピン チェイン ザ ギアーズ))。この場合、ダンサーはまず一歩進んで瞬時に 右手のオーシャンウェイブを作り、その動作を完了する。コーラーが特に左手の動作(例えば、レフト リレイ ザ ドゥシー)を指示した場合は、ダンサーは一歩進んで瞬時に左手のオーシャンウェイブを作り、その動作を完了する。

次の動作は向き合っているカプルからは行うことができない。すなわち、動作を始める隊形として(それぞれの動作定義に述べられているように)ミニウェイブまたはオーシャンウェイブを必要とする。

EXPLODE THE WAVE (エクスプロウド ザ ウェイブ)、EXPLODE AND (Anything) (エクスプロウド アンド (何かの動作))、FOLLOW YOUR NEIGHBOR (フォロウ ヨア ネイバー)、PING PONG CIRCULATE (ピンポン サーキュレイト)、TRADE THE WAVE (トレイド ザ ウェイブ)

7. オーシャンウェイブの規則 向かい合っているカプル(または向かい合っているライン)から普段行うことができる動作によっては、オーシャンウェイブ(またはタイダルウェイブ(例えば、LOAD THE BOAT (ロード ザ ボート)))からでも同じように行うことができる。この場合、ダンサーは既にお互いに歩を進めている状態にあり、指示された動作の残りを行って、その動作を完了する。ダンサーに教示し、理解させるためには、まず、向かい合っているカプル(または向かい合っているライン)に後退させ、改めて、オーシャンウェイブ(またはタイダルウェイブ)へ歩を進め、その動作を完了させることが必要かもしれない。
8. 地域的なスタイリングの違い
コーラーラブではスタイリングに地域的な違いが存在することを認めている。

プラスプログラム動作の定義

ACEY DEUCEY (エイシー デューシー)

動作を始める隊形： 平行なオーシャンウエイブ、またはトゥフェイスライン。

タイミング： 4拍。

動作：

センターの4人が Trade(トレード)し、他が Circulate(サーキュレイト)を行う。他の隊形から行うことも認められるが、必ず4人のセンターと4人のエンズ(外側)がいなければならない。センターは Trade(トレード)ができる必要があり、エンズ(外側)は Circulate(サーキュレイト)ができる必要があり、センターにはなり得ない。

ALL 8 SPIN THE TOP (オール エイト スピン ザ トップ)

動作を始める隊形：

Thar Star(ザー スター (静止状態または動作状態))、Wrong Way Thar(ロングウェイ ザー (静止状態または動作状態))、Right & Left Grand Circle(ライト アンド レフト グランド サークル)。

タイミング： 10拍。

動作：

Thar Star(ザー スター)または Wrong Way Thar(ロングウェイ ザー)から始める場合、すべての動きを止めて、センターで組まれているスター隊形を解いて、各センターにいるダンサーが外にいる隣のダンサーと Arm Turn(アーム ターン)を1/2(180度)行う。中に入ってきた人は Star(スター)を3/4行い(前進し)、新しく外へ出た人は円周上を1/4前進し、同じ人と再び手を取り、静止した Thar Star(ザー スター)または Wrong Way Thar(ロングウェイ ザー)隊形で終わる。

Right & Left Grand Circle(ライト アンド レフトグランド サークル)から始める場合、向き合っているダンサーと、皆が右手で半分(180度)回転し、上記のように(新しく中に入った人は左手のスター3/4等)動作を完了する。動作を終わる隊形は静止した Wrong Way Thar(ロングウェイ ザー)である。

Right & Left Grand Circle(ライト アンド レフト グランド サークル)から All 8 Left Spin The Top(オール エイト レフト スピン ザ トップ)のコールがあった場合、向かい合っているダンサーと、皆が左手で半分(180度)回転し、上記のように動作を完了する。動作を終わる隊形は静止した Thar Star(ザー スター)隊形である。

スタイリング：

最初の Arm Turn (アーム ターン)1/2(180度)は forearm turn(フォアアーム ターン)である。スター部分は palm star(パームスター)を使う標準的なスターで行う。外側を前進するダンサーは手を自然なダンス位置にとり、次の動作を適切に行えるよう備える。女性はスカートワークを行うとよい。

(ANYTHING) & ROLL ((何かの動作) アンド ロール)

動作を始める隊形： 種々。

タイミング： 2拍。

動作：

言葉“… & Roll (… アンド ロール)”は、動作完了の際、定義によって、一人またはそれ以上のダンサーの身体の動きが右または左に回転要因を持ついかなる動作にも追加してよい。直前のコールにより定まる体が動く方向へ、一人で、その場で1/4(90度)余分に回るといふダンサーに対する指示である。

もし“… & Roll (… アンド ロール)”が、動作完了の際、定義によって、ダンサーが直線上を動く場合は、このダ

ンサーは“…& Roll (… アンド ロール)”については何もしない。

スタイリング:

Roll(ロール)に先行する動作(Anything-何かの動作)を完了する時は、取っている手をすべて離し、その場でのソロターン方向への勢いを失わないよう備える。腕は自然なダンス位置にとり、次の動作を適切に行えるよう備える。

(ANYTHING) & SPREAD ((何かの動作) アンド スプレッド)

動作を始める隊形: 種々。

タイミング: 2拍。

動作: この動作には3方法がある。

(1)単に Spread(スプレッド)と指示された場合(例えば、スクエアセットから Heads Star Thru & Spread(ヘッズ スター スルー アンド スプレッド)、ヘッズは横にずれてエンズとなり、Inactive Dancers (インアクティブ ダンサー)が前進してヘッズの中間に入る。

(2)もし Anything(何かの動作)コールがラインまたはウエイブで終わった場合(例えば、Follow Your Neighbor (フォロウ ユア ネイバー))、センターが横にずれて新しいエンズとなる Spread(スプレッド)動作を行い、最初から外にいたダンサーが最も近いセンター位置に入ることになる。

(3)もし Anything(何かの動作)コールが縦並びで終わった場合(例えば、4人のラインからの Wheel & Deal(ウィール アンド ディール))、前にいるダンサーが横にずれて、後ろのダンサーが前進して前にいるダンサーの間に入る。

スタイリング: 全てのダンサーは、動作終了結果の隊形に示される適切な手の位置を取り、スタイリングを行う(例えば、Follow Your Neighbor and Spread(フォロウ ヨア ネイバー アンド スプレッド)の後はオーシャンウエイブのスタイリング)。

CHASE RIGHT (チェイス ライト)

動作を始める隊形: 背中合わせの二組のカプル。

タイミング: 6拍。

動作: それぞれ右側にいるダンサーが大きな Zoom(ズーム)動作を行い、その後ろの以前に右側にいたダンサーの位置を占め、Zoom(ズーム)動作を始める前の時と同じ方向を向く。(結果だけを見ると、右側にいるダンサーは右回りのUターンバックをし、ボックスサーキュレイトを2回行った場合と同じになる。)左側にいるダンサーは右側にいたダンサーに追従(Chase)し、ボックスサーキュレイトを2回行う。動作を終る隊形はボックスサーキュレイト隊形である。

スタイリング:

全てのダンサーは、腕を自然なダンス位置にとる。女性はスカートワークを行ってもよい。右側にいるダンサーは角ばって曲がったりせず、流れるような動作を行う。二組(例えばヘッズ)がスクエアセットの中で Chase Right (チェイス ライト)を行う場合は、Zoom(ズーム)動作を行う人は極力小さく動いて、外のダンサーとの衝突を避けるのが重要である。同時に、Chase Right (チェイス ライト)を行わない組は、もしゆとりがなくて出来うならば、後ろに下がって、中で動作しやすいようにスペースを空けてください。

COORDINATE (コウオーディネイト)

動作を始める隊形： カラム(プラスではカラムのみ)。

タイミング： 8拍。

動作：

Circulate(サーキュレイト)し、さらに1/2(半分) Circulate(サーキュレイト)。センターの6人(3組の隣り合ったペア)が Trade(トレイド)し、最もセンターのダンサー二人が取っている手を離して、ななめ外側に回転することなく歩を進め、二人の遠く離れたダンサーは1/4円前進する。カラムからの Coordinate(コウオーディネイト)はトゥフェイスラインで終わる。

スタイリング：

センターの6人(3組の隣り合ったペア)はハンズアップで手を取り、Trade(トレイド)する。最もセンターのダンサー二人が取っている手を離して前進した後、すべてのダンサーはカプルの手の取り方で手をつなぐ。スカートワークを行う時間はない。

CROSSFIRE (クロスファイア)

動作を始める隊形： トゥフェイスライン、4人の平行したライン、インバーテッド ライン。

タイミング： 6拍。

動作：

センターが Trade(トレイド)を始め、エンズは Cross Fold(クロス フォールド)を行う。Trade(トレイド)が終わるとすぐセンターは手を離し、直進して向かい合うダンサーとオーシャンウェイブまたはミニウェイブを作る。Trade(トレイド)後に誰とも向かい合わない場合は、前進して外を向いたままている。

スタイリング： 動作を始める隊形がトゥフェイスラインの場合、Trade(トレイド)動作は手をハンズアップにとり、ミニウェイブのスタイリングに移行する。動作を始める隊形が4人の平行したラインで、センターが誰とも向かい合わないで動作を終える場合は、このカプルはカプルの手の取り方になる。

CUT THE DIAMOND (カット ザ ダイヤモンド)

動作を始める隊形： すべてのダイヤモンド。

タイミング： 6拍。

動作：

ダイヤモンドのセンターが Diamond Circulate(ダイヤモンド サーキュレイト)し、ダイヤモンドの次の位置へ移る。ポイントのダンサーは共に横にずれ、Trade(トレイド)をする。ラインまたはウェイブで終わる。

スタイリング： 普通のダイヤモンド隊形からはカプルの手の取り方に移り、動作を始める隊形が向かい合ったダイヤモンドの場合は、ベーシックのオーシャンウェイブとして必要であるハンズアップの手の取り方に移行する。

DIAMOND CIRCULATE (ダイヤモンド サーキュレイト)

動作を始める隊形： すべてのダイヤモンド。

タイミング： 3拍。

動作:

ダンサーはそれぞれ自分のいるダイヤモンドの次の位置へ進み、方向を最初に向いていた方向から1/4(90度)ダイヤモンドの中心へ向かって変える。ポイントはセンターになり、センターはポイントになる。この動作が向かい合ったダイヤモンドに指示された場合、すべて右肩で通り過ぎる。

スタイリング:

ダンサーはある位置から次の位置へ斜めに移動するが、ダイヤモンド隊形を維持することが重要である。センターになるダンサーはオーシャンウェイブの時のようにハンズアップで手を取るようになる。ポイントとなるダンサーは自然なダンス位置に腕を維持する。女性はスカートワークを行ってもよい。

DIXIE GRAND (ディキシー グランド)

動作を始める隊形: ディキシーグランドサークル、ダブルパススルー、1/4タッグ、又は、少なくとも2人のダンサーが動作を始めることができるすべての隊形。

タイミング: 6拍。

動作:

向かい合ったダンサーが右手を引っ張って通り過ぎることができるところから動作を始める。それぞれのダンサーはサークル上を前進して次の人に左手を出し、引っ張って通り過ぎ、次に右手で通り過ぎる。動作を始める隊形には関係なく、動作が進行するにつれて、隊形はサークルに変わる。

スタイリング:

ベーシックの Right And Left Grand(ライト アンド レフト グランド)動作の記述に同じである。ダンサーは握手の要領で、右手左手と交互に引っ張って進む。それぞれが互いに通り過ぎるところで手を離す。スカートワークは勧められない。

EXPLODE AND (Anything) (エクスプロード アンド (何かの動作))

動作を始める隊形: (オーシャンウェイブからのみ) 全ての4人のオーシャンウェイブ。

タイミング: エクスプロード部分で2拍。

動作: 皆が取っている手を離して前進し、1/4(90度)中へ向いて、隣にいたダンサーと向き合い、(Anything)(何かの動作(例えば、Right And Left Thru(ライト アンド レフト スルー)、Star Thru(スタースルー)等)を行う。

スタイリング:

全ての”Explode and …(エクスプロード アンド…)”動作では、それぞれの”Explode and …(エクスプロード アンド…)”動作に推奨されるスタイリングを使用する。

EXPLODE THE WAVE (エクスプロード ザ ウェーブ)

動作を始める隊形: (オーシャンウェイブからのみ) 全ての4人のオーシャンウェイブ。

タイミング: 6拍。

動作:

皆が取っている手を離して前進し、1/4(90度)中へ向いて、隣にいたダンサーと向き合い、その人を右手で引

っ張って、背中合わせのカプルとなって終わる。

スタイリング:

ダンサーが右手を引っ張って通り過ぎる時は、握手の手の取り方を使う。位置をはっきりとさせるため、動作の完了時にカプルで手を取る。

EXTEND(エクステンド)

動作を始める隊形:

ダブル パス スルー、平行したオーシャンウェイブ(1/2タッグ)、すべてのタッグ(1/4又は3/4)隊形。

タイミング: 2拍。

動作: 全てのダンサーは(必要とあれば)手を離し、前進して向かい合っているカプルとオーシャンウェイブを作る。EXTEND(エクステンド)動作後誰も向かい合わなければ、そのまま外を向いて終わる。動作を始める隊形が右手を取っている場合は、EXTEND(エクステンド)動作後も右手の隊形となる。動作を始める隊形が左手を取っている場合は、EXTEND(エクステンド)動作後も左手の隊形となる。ダブル パス スルー隊形からは、EXTEND(エクステンド)動作後、右手の1/4タッグ隊形となる。1/4タッグ隊形からEXTEND(エクステンド)すると平行なオーシャンウェイブとなり、平行なオーシャンウェイブからEXTEND(エクステンド)すると3/4タッグ隊形となる。3/4タッグ隊形からEXTEND(エクステンド)するとダブル パス スルーを終わった隊形となる。

スタイリング:

全てのダンサーは滑らかに前進し、EXTEND(エクステンド)動作を行う。また、動作完了時のスタイリング(例えば、オーシャンウェイブのスタイリング、ダブル パス スルー隊形におけるカプルの手の取り方等)を踏襲する。

FAN THE TOP (ファン ザ トップ)

動作を始める隊形: オーシャンウェイブ又はトゥフェイストライン。

タイミング: 4拍。

動作:

ラインまたはウェイブのセンターが3/4(270度)回転し、外側のダンサーは1/4円上を前進する。動作を始めた隊形から直角の位置で動作を終わる。センターズはセンターズのまま、エンズはエンズのままである。

スタイリング:

センターのダンサーはハンズアップで手を取り、スタイリングはSwing Thru(スイング スルー)に同じである。エンズは腕を自然なダンス位置にとり、次の動作の適切な手の位置に備える。

FLIP THE DIAMOND (フリップ ザ ダイヤモンド)

動作を始める隊形: すべてのダイヤモンド。

タイミング: 3拍。

動作:

ダイヤモンドのセンターがDiamond Circulate(ダイヤモンド サーキュレイト)し、ダイヤモンドの次の位置へ移る。ポイントのダンサーが一番近いセンター位置へRun(ラン) (“Flip(フリップ)”)をし、手をつないで出来上がるウェイブまたはラインのセンターとなる。向かい合っているダイヤモンドから“Flip(フリップ)”をするとき、ポイントのダンサーは常に内側を通り、センターのダンサーは常に外側を通る。

スタイリング：普通のダイヤモンド隊形からはベーシックオーシャンウェイブとして必要であるハンズアップの手の取り方に移り、動作を始める隊形が向かい合ったダイヤモンドの場合は、カプルの手の取り方に移行する。

FOLLOW YOUR NEIGHBOR (フォロー ユア ネイバー)

動作を始める隊形：ボックス サーキュレイト。

タイミング：6拍。

動作：

中を向いているダンサーはその隣にいる人(Neighbor)と手を離し、直進して近づいてくる人と近い腕を取り、3/4(270度)回転して、新しいウェイブのセンターズとなる。同時に外を向いているダンサーはその隣にいる人(Neighbor)に追従して前進、輪を描くように3/4(270度)隣にいた人(Neighbor)に向かって回り、隣にいた人(Neighbor)と隣り合わせで、新しいオーシャンウェイブのエンズとなって動作を終わる。

右手のボックスから始めた場合は、中を向いているダンサーが右手で回り、外を向いているダンサーは、輪を描くように右回りに回って、左手のオーシャンウェイブで終わる。左手のボックスから始めた場合は、中を向いているダンサーが左手で回り、外を向いているダンサーは、輪を描くように左回りに回って、右手のオーシャンウェイブで終わる。

スタイリング：中を向いているダンサーはセンターで前腕を取って回るが、隣にいた人(Neighbor)とオーシャンウェイブで会った時は手をハンズアップの位置で取る。流れるようなダンスにするため、外を向いているダンサーは輪を描くように動くとき、荒々しくスポットターンをしてはいけない。

GRAND SWING THRU (グランド スイング スルー)

動作を始める隊形：タイダル ウェイブ、6人のオーシャンウェイブ。

タイミング：6拍。

動作：

できる人が右手で1/2(180度)回り、次にできる人が左手で1/2(180度)回る。もし Grand Swing Thru (グランド スイング スルー)がコールされる前に”Right(ライト)”と特に言われなくても、右手の Grand Swing Thru (グランド スイング スルー)であると理解される。Grand Left Swing Thru (グランド レフト スイング スルー)を必要とする場合は、特に”Grand Left Swing Thru (グランド レフト スイング スルー)”と指示しなければならず、この場合、できる人が左手で1/2(180度)回り、次にできる人が右手で1/2(180度)回る。

スタイリング：

ベーシックの Swing Thru(スイング スルー)に記述されたものとまったく同じである。

LINEAR CYCLE (リニア サイクル)

動作を始める隊形：(プラスプログラムではウェイブからのみ) 右手又は左手の平行したオーシャンウェイブまたは4人のウェイブ。

タイミング：8-10拍。

動作：

(プラス以上のプログラムでは、エンドとすぐに隣接するセンターが Single(シングル)または Partner Hinge(パートナー ヒンジ)ができるすべての隊形を含む。これは3分割動作である。)

第1部. エンズとすぐに隣接するセンターズが Hinge(ヒンジ)。第2部. 外を向いている人が中を向いている人の後ろへ Fold(フォールド)し、Double Pass Thru(ダブル パス スルー)動作をする。第3部. もし Hinge(ヒンジ)が右であれば、右へピールし、もし Hinge(ヒンジ)が左であれば、左へピールし、向かい合ったカプルで終わる。

もし Hinge(ヒンジ)が右であれば、すべてが右肩で通りすぎ、もし Hinge(ヒンジ)が左であれば、すべてが左肩で通りすぎる。

プラス以上のプログラムについての追加注釈であるが、インバーテッドラインや3対1のラインでは通り過ぎる時の規則が優先する。(プラスプログラムには当てはまらない。)

スタイリング:

腕は自然なダンス位置へ。それぞれの構成部分におけるスタイリングに同じ。動作の完了時に再び手を取る。

LOAD THE BOAT(ロード ザ ボート)

動作を始める隊形: センターズが中を向きそれぞれのラインのエンズが同じ方向(中か外)を向いている4人のライン。

タイミング: 12拍。

動作:

エンドのダンサーは前進して外を回り、動いてくる3人のエンドのダンサーを右肩で通り過ぎ、1/4(90度)中を向いて、3番目に通り過ぎた人の隣に立ち、セットの中心を向いてカプルで終わる。同時に、センターの4人のダンサーは Pass Thru(パス スルー)をし、この瞬時のパートナーと背中合わせとなる。そして、新しいパートナーと Partner Trade(パートナー トレイド)を行い、Pass Thru(パス スルー)をする。

スタイリング:

エンドダンサーは外側を移動するが、センターダンサーが動きやすいよう十分な空間を残して動く。腕は動作中自然なダンス位置にとり、次の動作に適切な手の位置に移る。

PEEL OFF(ピール オフ)

動作を始める隊形: 縦に並んだカプル、ボックス サーキュレイト、又はZ隊形。

タイミング: 4拍。

動作:

前にいるダンサーは、動作を始める隊形の中心から離れるように半円を描いて歩を進め、4人のダンサーのラインのエンズとなる。後ろにいるダンサーは必要に応じて前進し、同じラインのセンターズとなり、動作を始める隊形の中心から反対方向を向くように U-Turn Back(ユーターン バック)を行う。すべてのダンサーは4人のダンサーのラインで終わる。それぞれのダンサーは1/2(180度)回転し、動作を始めた方向から反対方向を向いて動作を終わることになる。縦に並んだカプルからの PEEL OFF(ピール オフ)はワン フェイスト ラインで終わり、ボックス サーキュレイト又はZ隊形からの PEEL OFF(ピール オフ)はトゥフェイストラインで終わる。

注釈: PEEL OFF(ピール オフ)後は皆がRoll(ロール)できる。ダンサーは円滑な連続した動きで移動し、分割はできない。終わりの隊形のセンターは動作を始めた隊形のセンターと同じである。

縦に並んだ関係にあり、離れて反対方向へ動く対象のセンターがいる二人のダンサーはあたかもボックス サーキュレイト隊形にあり、PEEL OFF(ピール オフ)を行うことができる(例えば、オーシャンウェイブのエンズ、ダイヤモンドのポイント)。この場合、元の前にいたダンサー位置と後ろにいたダンサー位置の中間でカプルとして動作を終わる。

スタイリング:

腕は自然なダンス位置にとり、次の動作に適切な位置になるよう備える。前にいるダンサーは、“ピール”動作を始める前少し前に出ることが重要である。

PEEL THE TOP(ピール ザ トップ)

動作を始める隊形: ボックス サーキュレイト、又はZ隊形。

タイミング: 6拍。

動作:

前にいるダンサーは PEEL OFF(ピール オフ)し、後ろにいるダンサーは直進し互いに隣り合う手を取り、皆で FAN THE TOP (ファン ザ トップ)を行う。

スタイリング:

前にいるダンサーは腕を自然なダンス位置にとり、次のコールに備えて適切な位置に調整する。前にいるダンサーは、“ピール”動作を始める前少し前に出ることが重要である。後ろにいるダンサーは手の位置をハンズアップにとり、ベーシックの Swing Thru(スイング スルー)に記述されたスタイリングに従う。

PING PONG CIRCULATE (ピンポン サーキュレイト)

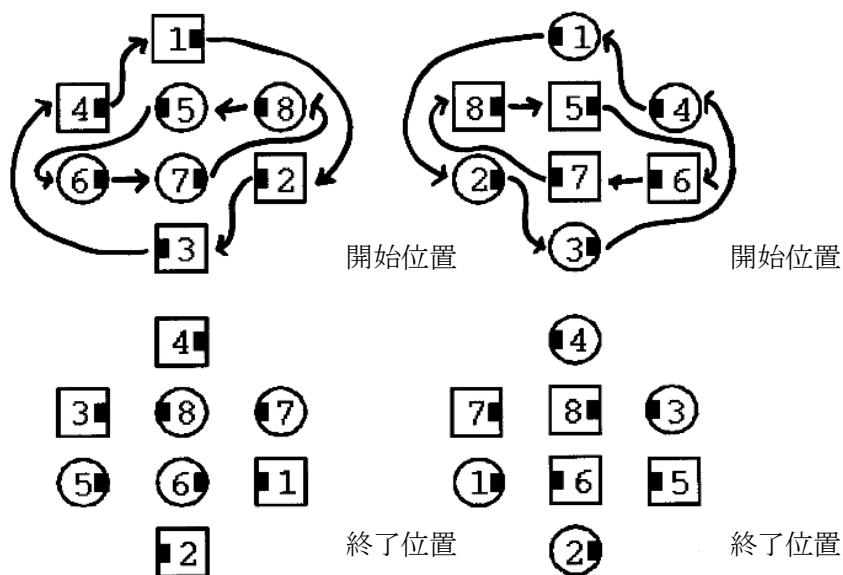
動作を始める隊形: 1/4タッグ。

タイミング: 6拍。

動作:

この動作は1/4タッグ隊形に始まり、1/4タッグ隊形で終わる。それぞれのダンサーは Circulate(サーキュレイト)、すなわち、図1に示す軌道に沿って位置を一つ前進する。中心が左手のウェイブである場合もまたコール可能で、この場合は、Circulate(サーキュレイト)の軌道を図2に示す。

Circulate(サーキュレイト)の軌道は互いに独立していることに注意すべきである。したがって、外側の軌道にいる人のみ(図1及び2の1、2、3、4番のダンサー)が Ping Pong Circulate(ピンポン サーキュレイト)でき、内側の軌道にいる人のみ(図1及び2の5、6、7、8番のダンサー)が Ping Pong Circulate(ピンポン サーキュレイト)できる。



スタイリング:

以前に記述のあるベーシックの Pass Thru(パス スルー)とPartner Trade(パートナー トレイド)に同じ。センターにいるダンサーはベーシックのオーシャンウェイブのスタイリングに同じ。外にいるダンサーはカプルの手の取り方。

RELAY THE DEUCEY (リレイ ザ デューシー)

動作を始める隊形: 平行なオーシャンウェイブ。

タイミング: 20拍。

動作:

この定義内におけるすべての Circulate(サーキュレイト)については、動作を始める時のオーシャンウェイブのエンズが最初に動く Circulate(サーキュレイト)の軌跡を踏襲します。動作中のダンサーは決して止まってはけません。本定義内で絶え間があるように書かれているが(例えば、”Half Circulate(ハーフ サーキュレイト)”)として書かれている動作など)、これははっきりと説明し、講習する時のためだけのものである。

それぞれのエンドと隣り合うセンターダンサーは1/2(180度)回る。各オーシャンウェイブの新しいセンターは3/4(270度)回転、その他のダンサーは Half Circulate(ハーフ サーキュレイト)し、6人のウェイブと2人の離れたダンサー状態を作る。6人のウェイブは3組で1/2回転し、その間、他が Half Circulate(ハーフ サーキュレイト)する。6人のウェイブのセンター4人は1/2回転し、その間、他の4人は Half Circulate(ハーフ サーキュレイト)する。6人のウェイブは再び3組で1/2回転し、その間、他が Half Circulate(ハーフ サーキュレイト)する。最後に、ウェイブのセンター4人が3/4回り(新しいウェイブのセンターとなり)、外側の4人は Half Circulate(ハーフ サーキュレイト)し、最終ウェイブのエンズとなる。

スタイリング:

オーシャンウェイブ隊形内の回転動作にはベーシックの Swing Thru(スイング スルー)におけるスタイリングを使う。Circulate(サーキュレイト)するダンサーは腕を自然なダンス位置にとって動き、動作を終わるにあたりハンズアップのオーシャンウェイブ隊形に移行する。

SINGLE CIRCLE TO A WAVE (シングル サークル トゥ ア ウェイブ)

動作を始める隊形: 向かい合ったダンサー。

タイミング: 4拍。

動作:

向かい合ったダンサーは互いに手を取り、Circle Left(サークル レフト)を半分行う。止まらずに、互いに手を離し、個人的に Veer Left(ビア レフト)して、ミニウェイブへ移行する。もしコーラーが”Single Circle 3/4 To A Wave(シングル サークルスリー クォーターズ トゥ ア ウェイブ)”と指示した場合は、向かい合ったダンサーは互いに手を取り、Circle Left(サークル レフト)を3/4行い、上記のように残りの動作を続けて行う。

スタイリング: サークルを行うとき2人のダンサーは少し左にずれ、サークルするダンスパートナーを前に置くよりいくらか右に置く。なめらかなダンスステップを使い、バタバタと歩かない。互いに手を取りサークルする時は、男性が手のひらを上に向け、女性が手のひらを下に向ける。腕は肘を気楽に曲げて、サークル時に少し力を入れる。ハンズアップのオーシャンウェイブになる。

SPIN CHAIN & EXCHANGE THE GEARS(スピン チェイン アンド エクスチェインジ ザ ギアーズ)

動作を始める隊形: オーシャンウェイブ。

タイミング: 26拍。

動作:

それぞれのエンズと隣り合うセンターズが1/2回転する。各オーシャンウェイブの新しいセンターズは3/4回り、回り終わると、エンズが中へフリップ(180度内向きに回転=Ends Run(エンズ ラン)と同じ)する。最も中心にいる人がトレイドした後、セットの半分それぞれが4人のスター(ギア)を作り、3/4回転する。



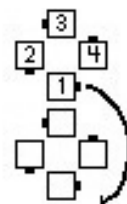
動作開始前



エンズと隣り合うセンターズが
1/2回転した後

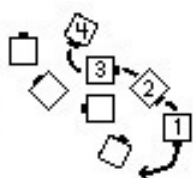


センターズが3/4回転し、
エンズが中へフリップ、最も
中心にいる人がトレイドした後



スター3/4後の番号
位置とエクステンジ
循環路を示す

最も中心にいる人それぞれ(一人は図示した1番の人)がリードして、スターにいる次の人たち(2番、3番、4番)を引き連れて、循環路にそって反対側のスターからくる別の人たちの外側へ移動する(エクステンジ)。1番の人は3/4回り込み、3番の人は1/4回り込むと、1番と3番は内側へフリップし、オーシャンウェイブのセンターとなり、2番と4番のダンサーは引き続き循環路にそって移動し、前にいるダンサーとその内側の手を取ってオーシャンウェイブのエンズとなる。同じ手を取ったオーシャンウェイブで、また、動作を始めた時と同じような位置で動作を終わる。



スターから続けて
エクステンジを
始める



エクステンジを
続ける



リーダーは3/4回り込み、
3番の人は1/4回り込む



1番と3番はフリップし、
2番と4番はエンズとなる

スタイリング:

スターを回転しエクステンジをする場合、4人のグループはそれぞれS字のような循環路をスムーズに移動する。エクステンジをしてオーシャンウェイブの隊形を作るが、切れ目なく動作を行う。オーシャンウェイブとスターは普通のスタイリングで行う。それぞれのスターを作るとき(スターを回転する前)、エクステンジをリードするダンサーは外側の手を上げて、“続いてくる”ように示すのがふつうである。その手はスターを回転し、エクステンジを行う間上げたままにし、後ろから来るダンサーの内側となる手をスムーズに取る。

注釈:

向かい合ったカプルの規則を適用する。

コーラーによってはスターを回す3/4分数を変えることがあるが、この場合異なったダンサーが1番となり、エクステンジをリードする。

SPIN CHAIN THE GEARS (スピン チェイン ザ ギアーズ)

動作を始める隊形: 平行なオーシャンウェイブ。

タイミング: 24拍。

動作:

それぞれのエンズと隣り合うセンターズが1/2(180度)回転し、それぞれのオーシャンウェイブの新しいセンタ

ーズが3/4(270度)回り、セットを横切った新しいオーシャンウェイブを作る。その間に、他の4人のダンサーは(中心のほうへ回転するように)U-Turn Back(ユーターン バック)を行う。ウェイブのセンターズはTrade(トレード)し、互いに手を離す。スクエアのそれぞれの側面にいる4人のダンサーはここで4人のスターを作り3/4回って、セットを横切った新しいオーシャンウェイブを作る。このウェイブのセンターズはTrade(トレード)し、セットを横切った瞬時のオーシャンウェイブを作る。そして、この真ん中のウェイブの外側のペアは3/4(270度)回転し、他の4人のダンサーは(中心とは反対方向への)U-Turn Back(ユーターン バック)を行う。

スタイリング:

オーシャンウェイブ隊形に入るダンサーはベーシックの Swing Thru(スイング スルー)と Spin Chain Thru(スピン チェイン スルー)におけるスタイリングを使う。ベーシックの Star(スター)部分については、ベーシックの Star Right(スター ライト)に示されるスタイリングを参照下さい。Star(スター)に入るときやオーシャンウェイブに移るときは、角ばった動きをせず、流れるように回転する。Star(スター)部分では、女性は外側の手を使ってスカートワークをしてもよい。

TEACUP CHAIN (ティーカップ チェイン)

動作を始める隊形: スクエアセットまたは誰もが先行してパートナーと Left Arm Turn(レフト アーム ターン)を行っている隊形。

タイミング: 32拍。

動作:

コーラーは動作を始めるにあたって、中心に向かって移動する2人の女性を指定する。例えば、”Head ladies center for a Teacup Chain(ヘッド レイディーズ センター フォー ア ティーカップ チェイン)”である。以下の定義ではこの2人の女性を“指示された女性”と呼ぶ。

指示された女性(ヘッドの両女性又はサイドの両女性)が中心に移動して Star Right 3/4(スター ライト スリークォーターズ)し、コーナーと会って Left Arm Turn(レフト アーム ターン)を行う。同時に他の2人の女性はスクエアセットの周囲を回ってコーナーまで移動し、Right Arm Turn(ライト アーム ターン)を行う。Arm Turn(アーム ターン)に続いて、指示された女性はスクエアセットの周囲を回って新しいコーナーまで移動し、Right Arm Turn(ライト アーム ターン)を行う。その間、他の女性は中心に移動して Star Left 1-1/4(スター レフト ワンス アンド ア クォーター)し、新しいコーナーと会って Right Arm Turn(ライト アーム ターン)を行う。

更に、指示された女性は中心に移動して Star Left 1-1/4(スター レフト ワンス アンド ア クォーター)し、新しいコーナーと会って Right Arm Turn(ライト アーム ターン)を行う。他の女性は(スクエアセットの周囲を回って)新しいコーナーまで移動し、Left Arm Turn(レフト アーム ターン)を行う。

最後に、指示された女性は新しいコーナー(オリジナル パートナー)まで移動し、次に続く指示により Courtesy Turn(カーテシー ターン)または Left Arm Turn(レフト アーム ターン)で終わる。一方、他の女性は中心に移動して Star Right 3/4(スター ライト スリークォーターズ)し、新しいコーナー(オリジナル パートナー)と会って、次に続く指示により Courtesy Turn(カーテシー ターン)または Left Arm Turn(レフト アーム ターン)で終わる。皆男性も女性もそのオリジナル パートナーとともに動作を終わる。

もしコーラーが男性に女性の動作、女性に男性の動作を、上記に説明したように行わせたい場合、動作を始める隊形は、スクエアセットで全てのカップルが Half Sashay(ハーフ サシェイ)した形か、または誰もが先行してパートナーと Left Arm Turn(レフト アーム ターン)を行っている隊形である。“Head/Side Men Center for a Teacup Chain(ヘッド/サイド メン センター フォー ア ティーカップ チェイン)”が適切なコールである。

スタイリング:

Star(スター)の形で回転するセンターダンサーはハンズアップの手を使う。外にいるダンサーとの回転は皆フオアアームで行う。次に続く指示がない場合は、前述したように、Courtesy Turn(カーテシー ターン)で動作を終わる。外にいるダンサー(通常は男性)はフオアアームターンを交互に自然な形で行い、ピボットターンのように動くのではなく、できるだけ優雅な動きを行う。女性は外側の手によるスカートワークでこのベーシックをより美しく強調できる。

3/4 TAG THE LINE (スリー クォーター タッグ ザ ライン)

動作を始める隊形： 平行する4人のライン、インバーテッド ライン、トゥフェイスライン、3対1のライン。

タイミング： 5拍。

動作：それぞれのダンサーは個人的にラインのセンターへ向き、向かってくるダンサーと右肩で通り過ぎ前進する。一番前に行くダンサーは2人を通り過ぎ、外を向いて終わる。後ろのダンサーは1人を通り過ぎ、セットの中央で右手のオーシャンウェイブを作って終わる。3/4 TAG(スリー クォーター タッグ)隊形で終わる。もしこの動作が単独の4人のラインから行われた場合は、外を向いた2人のダンサーの間にミニウェイブができた形で終わる。

スタイリング：

前述したベーシック Tag The Line(タッグ ザ ライン)に同じ。動作のところで述べたように、オーシャンウェイブまたはミニウェイブになるとときにはハンズアップの手に移行する。

TRACK II (トラック トゥー)

動作を始める隊形： ダブル パス スルーを終わった隊形。

タイミング： 8拍。

動作：

ダンサーは“タンデム”で、前後の関係を保って動く。すなわち、後ろのダンサーが前のダンサーに追従する。右側の“Track(行路)”にいる人は、Single File(シングル ファイル)で左方向へ反時計回りに移動し、左側の“Track(行路)”にいるダンサーの内側を維持する。左側の“Track(行路)”にいるダンサーは、Single File(シングル ファイル)で右方向へ時計回りに移動し、外側を保つ。動作は Double Pass Thru(ダブル パス スルー)のように動きが続き、ダンサーは平行した右手のオーシャンウェイブになって終わる。

スタイリング：

ダンサーは同時に反対方向へ進むので、互いに十分な余裕を持って動くことが重要である。外側の人はセンターを動く人が窮屈にならないように気を付けなければならない。すべてのダンサーは腕を自然なダンス位置にとり、動作の終了にあたってオーシャンウェイブでのハンズアップに移行する。

TRADE THE WAVE (トレイド ザ ウェイブ)

動作を始める隊形： 4人のオーシャンウェイブのすべて。

タイミング： 6拍。

動作：

ウェイブで同じ方向を向いているダンサーが互いに Trade(トレイド)する。右手のウェイブは左手のウェイブになり、左手のウェイブは右手のウェイブになる。ウェイブのエンズはセンターズとなり、ウェイブのセンターズはエンズとなる。

スタイリング：

すべての Trade(トレイド)に同じであるが、ダンサーは最初に少し前進し、ウェイブを出してから Trade(トレイド)を行うダンサーのほうへ方向を変える。ベーシックのオーシャンウェイブのスタイリングにおけるハンズアップの位置で手を取る。

この資料は CALLERLAB の許諾を得て、一般社団法人日本スクエアダンス協会国際交流委員会委員の尾崎隆敏氏に翻訳していただきました。訳文の内容につきましては日本スクエアダンス協会技術委員会が確認・承認しています。

2013年2月26日 初版発行

2015年2月18日 改訂版発行

発行 一般社団法人日本スクエアダンス協会